

令和2年	6月18日策定
	7月2日改定
	8月4日改定
	8月20日改定
	9月19日改定
令和3年	12月1日改定
	4月21日改定
	7月1日改定
令和4年	9月13日改定
	3月21日改定

神奈川県立音楽堂における 新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン

<主旨>

神奈川県立音楽堂（以下、音楽堂）は、新型コロナウイルス感染症予防対策のためのガイドラインを策定いたしました。

イベントに会場する「来場者」、イベントを行なうため来館する「施設利用者」、音楽堂を管理運営する「従事者」と、音楽堂に入館する全ての人を対象となります。

対策の基本方針は、感染を拡大させるリスクが高いと考えられている3つの条件[以下「三つの密」、①密閉（換気の悪い密閉空間である）、②密集（多くの人々が密集している）、③密接（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）]が発生することを避け、全ての主体が相互に感染の回避に取り組むものです。一つの密でも感染リスクが避けられないといわれており、「三つの密」いずれの発生も避けるように努めます。

本ガイドラインは、国の専門家会議の提言に基づいて発表された公益社団法人全国公立文化施設協会による「[劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版](#)」等を参考に、神奈川県による「[業種別チェックリスト\(劇場等\)](#)」の項目を遵守し、音楽堂の施設の特性を踏まえ、実施すべき基本的な対策を整理し、記載しています。

今回の改定にあたっては、今後も感染が続く状況を踏まえた上で、音楽堂に入館する全ての人々が、継続的に安心・安全に館内にて過ごせるよう、従来の感染防止対策は徹底しつつ、新たな知見や状況を踏まえたガイドラインとしています。

本ガイドラインの改定は、新型コロナウイルス感染症のまん延・終息状況や専門家等の知見により適宜改定されるものとします。また、今後の新型コロナウイルス感染症対策に係る対処方針の変更や事態の状況により、必要に応じ改定を行なうものとします。

また緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施された場合は、このガイドラインに拠らず発出時の国及び神奈川県の方針に基づき、対応を別途定める事があります。

<参考>

(公社) [全国公立文化施設協会](#)
[「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(公社) [全国公民館連合会](#)
[「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(一社) [クラシック音楽公演運営推進協議会](#)
[「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(一社) [全日本合唱連盟](#)
[「合唱活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」](#)

(一社) [全日本吹奏楽連盟](#)
[「吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」](#)

(一社) [コンサートプロモーターズ協会](#) 他
[「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」](#)

(公社) [日本バレエ協会](#)
[「バレエ教室における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」](#)

(一社) [緊急事態舞台芸術ネットワーク](#)
[「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」](#)

[内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室](#)

[神奈川県](#) [イベントに係る感染防止対策について](#)

<音楽堂の感染予防対策の基本対応について>

① 感染症拡大予防策に関する周知

- 施設内各所に感染症拡大予防策の掲示をします。
- 配架しているチラシ等について、手にしたら持ち帰っていただくよう掲示をします。

② 検温について

- 入場時にサーモグラフィカメラ等により全ての入館者を検温します。発熱を検知した場合、改めて検温を依頼し、37.5度以上の熱が認められた場合、入館しないように要請します。

③ 消毒および清掃

- 施設内各所にアルコール消毒液を設置します。
- 化粧室に液体せっけんを設置し、手洗いを励行します。ハンドドライヤーの使用は停止します。
- 手すり、ドアノブ等不特定多数が接触する箇所を定期的に清掃・消毒します。
- 施設内は、利用終了後に消毒・清掃します。

④ ソーシャルディスタンスの確保

- チケットカウンターや窓口受付等に、飛沫拡散予防のためのパーテーションを設置します。
- 金銭の受け渡しは、トレイを使用します。
- ブランケットの貸出を停止します。
- 鍵付き傘立ての利用を停止します。

⑤ 換気について

- ホール客席内は空調システムにより、外気導入率を上げ、必要換気量を確保します。
- ホワイエ及びロビーは空気が循環できるように来場者が入館する際は窓を開けて、常時換気が行えるようにします。
- 楽屋使用時は、楽屋エリアの換気扇を常時使用します。

⑥ 抗菌加工について

- 館内のホワイエ、化粧室、楽屋、貸出備品、利用者に貸し出す鍵は抗ウイルス・抗菌コーティング加工を施しています。

⑦ 連絡体制

- 音楽堂の来場者や従事者に感染が判明した場合、保健所および当施設の所管課並びに催事の施設利用者に対し、必要な情報提供を迅速に行ないます。
- 神奈川県「[LINEコロナお知らせシステム](#)」及び厚生労働省「[新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）](#)」に登録し、来館者に来館記録の登録を促します。また、施設利用者に対しては、「LINEコロナお知らせシステム」のイベント登録を依頼します。

⑧ その他

- コインロッカーは感染拡大防止対策を講じられる範囲での運用をします。
- 冷水器の使用を停止します。

<来場者、施設利用者へのお願い>

① 来館前のお願い

- 以下に該当する方は、ご来場をお控えくださいますようお願いいたします。
 - (1) 新型コロナウイルス陽性者、及びその濃厚接触者で定められた待機期間が経過していない方。
 - (2) 体調がすぐれない方。
 - (3) 37.5度以上の発熱や、咳等の症状がある方。
 - (4) くしゃみや鼻水等により、他の来館者にご迷惑ごおかけする可能性がある方。
 - (5) [政府が入国声援や入国後の観察期間を必要としている国、地域](#)から帰国し、必要な観察期間内である方。また、観察期間内の方と濃厚接触のある方。

② 施設内でのお願い

- 入館時の検温及び手指のアルコール消毒をお願いします。 アルコール消毒

過敏症の方はこまめな手洗いをお願いします。

- こまめな手洗いのご協力をお願いします。洗面所には液体せっけんを設置しています。
- しっかり鼻にフィットさせた正しいマスクの着用をお願いします（フィルター性能の高い不織布マスク推奨）。マスクをされていない方のご入館は、2歳未満のお子様を除き、お断りします。
- ソーシャルディスタンス[1m以上、2m以上推奨]を確保し、必要なとき以外の向かい合っでの会話は極力避けてください。
- 換気を強化しているため、空調効果が損なわれる場合がございます。寒暖に配慮した備えのご用意をお願いします。
- ホワイエ、ロビー及び客席での飲食は水分補給を除きご遠慮いただきますようお願いいたします。施設利用者が催しの都合上ホワイエやロビーでの飲食が必要な場合は、事前にご相談ください。
- 化粧室のふた付便座を使用された場合は、ご使用後にふたを閉めてから流すようお願いいたします。
- 化粧室内のハンドドライヤーは、当面の間使用を停止します。ハンカチ、タオル等の携帯をお願いします。
- 出演者等へのプレゼントや花束の差し入れはご遠慮ください。
- 上演中の客席内での声出しはご遠慮ください。

<音楽堂従事者の基本的取組>

- 出社前に検温し、37.5度以上の発熱が認められる場合、また体調不良が認められる場合は、自宅待機とします。
- 入館前に検温を行ない、37.5度以上の発熱が認められた場合は帰宅の上、速やかに医療機関等を受診します。
- 発熱等の症状により自宅等で療養となった場合、毎日健康状態を確認した上で、症状が改善するまでは出社しません。また、必要に応じて検査を行ない、検査結果に応じた対応を行ないます。
- 感染が疑われる場合、家族・同居者に発症等が認められた場合、濃厚接触者となった場合は、速やかに報告し、保健所等関係機関の指導に従います。
- 管理部門においては、従事者の緊急連絡先や勤務状況を把握します。
- 不織布マスクを正しく着用して業務に従事します。接客の際は、必要に応じ

プラスチックグローブを着用します。

- PC、電話、事務用品等の共用をできるだけ避けます。共用が必要な物品については、使用後にアルコール消毒を行ないます。
- ユニフォーム、作業着、衣装はこまめに洗濯をします。
- 定期的に手洗い及び手指消毒を行ないます。
- 施設内での休憩は個々で行ない、会話を控えます。複数名が同時に食事休憩を取る際は、パーティションがない状態での対面では行ないません。
- ソーシャルディスタンスを保ち、執務・打合せ時には換気を十分に行ない、「三つの密」状態にならないようにします。
- 施設利用者や従事者に感染が判明した場合、保健所及び当施設を所轄する神奈川県国際文化観光局文化課や、関係者に必要な情報提供を迅速に行ないます。

<施設利用責任者へのお願い>

① 事前準備について

- 打合せ時は必要最低限の人数でお越してください。
- 関係者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿の作成をお願いします。また、必要に応じ保健所等への公的機関に個人情報提供される旨を説明し、全関係者の了解を得てください。
- 本ガイドラインを踏まえた感染防止策について、具体的な措置と役割分担について事前に音楽堂と確認調整をしてください。
- 本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針を、施設利用者に徹底周知してください。
- 来場者に、ご入場時の検温及び手指消毒の告知をお願いします。
- 感染者が確認された場合に備え、来場者の連絡先が分かるようにしてください。

例) 当日販売でのチケットは半券裏面に「お名前」「ご連絡先」をご記入いただく

厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)」のインストール及び登録、神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」に登録していただく 等。

- 当日券販売やチケットの当日引き換え時の対応方法をご検討ください。

例) 購入・引き換え待ちの列は間隔を空けてお待ちいただくようスタッフを配置する 等。

- スタンド花を手配される場合、来場者や施設利用者が個別に持ち帰らないように回収手配を行なってください。
- 予め図面等で舞台上が密にならない状況を確認した上で、催しの計画を行なってください。

② 施設利用時について

- 以下の症状がある施設利用者は入館できません。
 - (1) 発熱等の体調不良が認められる場合。
 - (2) 入館者の同居者が体調不良となった場合。
 - (3) 新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した場合、もしくは感染者の濃厚接触者と認められる場合。
 - (4) 政府が入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国、地域から帰国し、必要な観察期間内である方。また観察期間内との濃厚接触がある方。
- 開場待ちの列が発生しそうな際は、ホワイエ・ロビー開場される事をご検討ください。
- 入場券を発売する公演では、来場者と直接接触しないように対策を行なってください。
- プログラム、チラシ、アンケートを手渡しで配布する場合は、作業時も含めた事前の手指消毒を徹底し、感染防止対策を行なってください。
- 来場者との接触が起こるクローカーサービス等は、お控えください。
- ホワイエ等で物品販売を行なう場合は、飛沫防止やソーシャルディスタンスの確保方法等、感染症対策の徹底をお願いします。
- 終演後、来場者が退出する際、音楽堂内が密にならないように対策をお願いします。

例) 場内アナウンスを使用し、ブロック毎（または〇列～〇列毎）に退席案内する 等。

- 楽屋内での来場者との面会、終演後のサイン会、懇親会はお控えください。
- 神奈川県「[LINE コロナお知らせシステム](#)」にイベント主催者として登録し、来場者の目に付く場所に掲示、アナウンスをお願いします。

- 神奈川県の感染防止計画に基づく「[感染防止策チェックリスト](#)」を作成し、掲示もしくはウェブサイト等への掲載をお願いします。

③ 楽屋エリアの使用について

- メイクは化粧室で行わず、メイク・シャワー室や楽屋内にて行なって下さい。歯磨きはメイク・シャワー室で行なってください。
- 音楽堂が定める楽屋定員を厳守し、密集が起きない楽屋割を計画してください。
- 飲食される際は、飛沫感染防止対策をお願いします。
※対面を避けての飲食、密にならない、飲食中の会話は避ける 等。
- ケータリングは大皿を避け、個々で扱えるものをご用意ください。
- 音楽堂内での調理はお控えください。
- 茶器の貸し出しを休止いたします。必要な場合、紙コップ等をご持参ください。
- 管楽器の結露は、床面へ直接排水しないよう、処置をしてください。
例) 給水型ペットシート及び回収用ビニール袋を持参し、終了後持ち帰る。
- 換気のため、楽屋の扉は開放したままご退館をお願いします。

④ 仕込み・撤収時のについて

- ヘルメットやハーネス等の基本安全用具は、作業員各自が持参してください。
- 密集・密接の状況をつくらないように、作業スケジュールや人員配置の計画を立案してください。
例) 時差をつけた作業工程。作業区域の重複を避ける。
適正な人数作業。時間差休憩 等。
- 作業開始時、休憩開始時、作業再開時、作業終了時には手洗いや手指消毒を行なってください。
- 作業指示の際は、大声での発声は必要最小限に心がけてください。
- 演出卓、照明卓、音響卓等に並んで座る場合には1 m以上の距離を確保してください。
- 工具の共用をなるべく避けてください。台車や脚立等の共用する汎用機材の

使用前後には、手洗いや手指消毒を心掛けてください。

⑤ 舞台設備・備品について

- 緞帳は、5分以上閉じた状態にしないようにしてください。
- 操作卓やその周辺機器等は、運用責任者が消毒してから作業を始めてください。
- マイクやトランシーバー、インカム等の飛沫を直接受ける機材は、消毒を挟まない限り不特定の者による共用を避けてください。これらの機材の配布、回収、管理の際は個体ごとに離してお取り扱いください。
- 音楽堂所有の楽器は消毒ができないため、使用前後に手指消毒を行なってください。
- 触って使用する機材や楽器は、消毒を挟まない限り使用者を1人とし、共用しないでください。
- 複数のスタッフが接触する箇所は、定期的に消毒を行なってください。

⑥ リハーサル・本番時について

- ホワイエ、ロビー及び客席内での声出し、管楽器の音出しはお控えください。
- 客席にて発声を伴う、あるいは来場者との接触を伴う演出はお控えください。
- 出演者やスタッフの動線は、密な状態をできる限り避け、ソーシャルディスタンスを保つようにお願いします。
- 衣裳や小道具付き舞台稽古を行なう場合は、必要最小限とするようスケジュールを立案してください。また、衣裳や小道具を扱うスタッフを限定してください。
- 管楽器の結露水は、床面へ直接排水しないよう、処置をご検討ください。
例) 給水型ペットシート及び回収用ビニール袋を持参し、
終了後持ち帰る。
- 舞台上及び舞台袖の定員、及び舞台上のソーシャルディスタンスに関しては、音楽堂が別途定める規程を利用申し込み時にご確認の上、遵守してください。
- 来場者や施設利用者に体調不良が発生した場合、速やかに他の方から隔離

し、音楽堂にもご連絡をお願いします。感染が疑われる症状がある場合、医療機関及び保健所に連絡し、指示を受けてください。